

第 30 回テーマ

真似するだけでは生きていけない！

卒業シーズンである。仕事で移動中などに卒業式を迎える若者達が集まっているのを良く見かけるようになった。一方、多くの企業が決算の時期を迎え、春が近づくとともに何だかせわしない世の中になっているのを体感する。

残念ながら今、この時も停滞する不況感を否めず、方向性を見失った企業や企業人も多いのではなかろうか？正直、私も迷ってしまっている所がある。推測ながら今のままでは内需産業は右肩上がりの成長を実現する事は難しく、外需頼りの経済でジリジリと引っ張って行く他、ないのではなかろうか？とか。それほどまでに日本人の消費マインドは低迷し、有効な内需拡大策を見いだせていないのが現状ではなかろうか。

それでもこういう時代にも「成長」を繰り返す企業がある。当然、その企業のビジネスモデルや付加価値などを観察・分析して、何とか自社のノウハウをブラッシュアップさせるという手法も多いが、もう単なる模倣だけでは生きていけない。何故なら、形だけのものは値段がわかりやいので、価格競争になりやすく、付加価値を生みだしづらいからだ。以前のレポートでも「有形・無形...総合力で付加価値をつける」と提言したばかりである。

初めの一步は、モノマネであれ、何であれ、成功事例をベースに考えを構築する事は間違っていない。でも、特に内需産業は減速している事からもわかる通り、さらにそれにエッセンスを加えていかねば、今後は企業継続もさらに困難なものとなるだろう。ベースになるのは「アイデア」と「観察力」...すなわち人の力、組織の力という事になる。

新しい試みにはリスクがつきもので、当然ながらリーダーの強烈な判断が必要になってくるし、大局をみながら、適切な経営資源の投入が不可欠だ。

戦略立案と実行...特に中小企業の場合、経営資源に乏しく、オールラウンドプレイヤーが求められる事から、基軸となる議論が薄くなるケースも多い。改めて、時間の使い方を含め、自己の「戦略的生き方」について、熟考するのも良い時期なのではなかろうか。